

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
21144	施設サービス事業事務	福寿苑	業務係	宮原正尚	黒澤 正尚
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	43-2826
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	予算コード 6500	事業名(歳出予算見積書) 一般管理事務	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	支え合いやすらぎのまちづくり	
		節 (コード選択)	1節	地域で支える思いやりのある福祉の充実	
		項[基本施策] (コード選択)	1項	高齢者福祉の充実	
		目[主な施策] (コード選択)	4目	要保護者の支援	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 4 年度 ~ (終了予定)	25 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

介護認定をされた方

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

利用者が介護・看護・機能訓練を受けることにより、自立した生活を送ることができるようにする。また、その家族の生活の安定を図る。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	施設サービス(入所)及び居宅サービス(短期入所・通所リハビリテーション)により、介護・看護・機能訓練を実施する。
2	
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	25 年度 (見込み)	年度 (見込み)
①	指標名 入所者数	人	17,280	18,662	19,345	0.96	19,345
	説明 年間の延べ入所利用者数(短期入所を含む)	目標値設定の根拠	入所可能日数(365日)×51人				
②	指標名 通所リハビリテーション利用者数	人	1,197	1,242	1,701	0.73	1,701
	説明 年間の延べ通所リハビリテーション利用者数	目標値設定の根拠	通所可能日数(243日)×5人				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	25 年度 (見込み)	年度 (見込み)
①	指標名 入所利用率	%	94.7	92.6	98.1	0.94	98.1
	説明 入所定員(54人、22年度までは50人)に対する1日あたりの利用率	目標値設定の根拠	1日あたり51人(22年度までは49人)の入所				
②	指標名 通所利用率	%	49.3	51.1	70.0	0.73	70.0
	説明 通所定員(10人)に対する1日あたりの利用率	目標値設定の根拠	1日あたり5人の通所				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み				
対前年比	%		99.3	107.4				
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		142,360	141,432	151,966				
B)一般財源(税金)		0	0	0				
①事業費	(千円)	29,447	32,781	47,131				
対前年比	%		111.3	143.8				
②人件費の概算	(千円)	112,913	108,651	104,835				
対前年比	%		96.2	96.5				
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.30 0.30 0.30	0.00 0.00 0.00	1.00 1.00 1.00	16.00 16.00 16.00	17.30 17.30 17.30	112,913	108,651	104,835
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0	0

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	D	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 現在は併設である辰野総合病院との連携で緊急時の治療等を行っている。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 利用者、家族との定期的な個別面談を実施している。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度) 25

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

23年度から入所定員を50人から54人にし、経営状況の改善を図った。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

24年秋に辰野総合病院が移転するため、以後独立型として運営する。
 26年度に予定されている特別養護老人ホーム新設に伴い、25年度末に本事業を廃止する予定。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

福寿苑内への厨房施設の設置及びクックチル方式の導入

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

利用者数が増え経営状況の改善が図れた。引き続き利用者に適した看護、介護、機能訓練を実施し自立した日常生活ができるよう努めていきたい。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択